

# 終了報告書

報告年月日 2018 年 6 月 21 日

留学プログラム名	CAMPUS ASIA		
所属学院等 (学院/類/学部/研究科)	物質理工学院		
所属系・コース等 (系・コース/学科/専攻)	応用化学系 化学工学専攻		
卒業予定	2019 年 3 月	帰国時の学年	<input checked="" type="checkbox"/> 学士 / 修士 / 博士 4 年
留学先国	中国		
留学先大学等	清華大学		
留学期間	2018 年 2 月 20 日 ~ 2018 年 6 月 15 日		
留学中に受給した 奨学金	受給の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	種別： <input checked="" type="checkbox"/> 給付 / <input type="checkbox"/> 貸与	<input checked="" type="checkbox"/> 月額 / <input type="checkbox"/> 一括 3000 人民元
	奨学金名称 中国政府奨学金		

## 1. 留学先大学の概略

清華大学は中国の大学で、US ニュース&ワールド・レポートの大学ランキングでは、マサチューセッツ工科大学 (MIT) を抑えて工学系の世界 1 位を獲得した大学です。毎年高考 (中国の入試の名称) を突破した 3000 人の生徒が清華大学に入学するそうです。今年は 975 万人が高考を受験したそうです。この大学は各界に多数の人材を輩出しており、特に工程技術人材を大量に養成してきたため、「エンジニアの揺籃」とも称されます。

## 2. 留学前の準備

留学先でお世話になる研究室の指導教員を渡航前に決めた。院試の出願期間をまたいでの帰国だったので、証明写真、証明書の代理発行の書類をあらかじめ用意して、院試の出願を家族にお願いしました。

## 3. 留学中の学習

大学院の専門科目と中国語の授業を取っていました。専門の授業では英語が聞き取りにくかったので、与えられた資料と文献から授業内容を理解するよう試みました。中国語の授業はすべて中国で行われた。最初はほぼ聞き取れなかったが、学習を重ねるうちにすべて内容が理解できるようになりました。

4. 留学中に行った勉強・研究以外の活動  
空き時間に企業の人とお会いしてお話をお伺いしたり、会社訪問をしたりしました。
5. 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード  
成長したといえるような部分はありませんので、変わったなと思う部分について述べます。私は人と関わるのが好きになりました。この一文だけを読んだ読者の皆様は私のことをひきこもりと思うでしょう。大学入学後は、友人関係は広く浅くで、基本的には一人で趣味に打ち込んでいました。これはほとんどの大学生の行動パターンではないでしょうか。中国では私は留学生という立場でした。留学生というのは大学内では少人数の集団です。留学生同士で、関わることが多くすぐに仲良くなりました。また、現地の学生には研究室、寮、授業でお世話になりました。中国人の国民性だからかもしれないのですが、一回仲良くなるとすごく仲良くしてくれました。このように中国では、広く深く人と関わる事が多く友人のありがたみを改めて知ることができました。帰国前には皆でパーティを開いてくれ、お見送りをしてくれました。私は帰国前に幸せを感じて泣いてしまいました。帰国後はもっと人とコミュニケーションをとろうと決意しました。
6. 留学費用  
保険料約60000万円のみ自費で負担した。
7. 住居  
部屋は1人部屋でシャワーとトイレのみ共同のABタイプでした。ルームメイトは清華大学の本科生の中国人、で私の留学をサポートしてくれました。
8. 留学先での語学状況  
コミュニケーションはすべて英語でとりました。最初の1週間は聞き取るのに苦労しました。
9. 単位認定  
東工大とする予定です。
10. 就活  
帰国後は院卒業後に就職をしたいです。
11. 困ったこと  
大学事務(中国)の仕事の雑さに呆れた。専攻を間違えられたり、連絡が遅かったりと当初は手続きに困った。
12. 後輩へアドバイス  
発展途上国に留学する、とチャンスが巡ってきても必ず迷うと思います。健康面、食事面、治安、言葉など不安要素があると思います。しかし、一度その国に入ってしまうとすぐに慣れます。気が付くとその国に慣れて刺激的な毎日が楽しくなっていると思います。迷ったときは「やらない」より「やる」という選択肢を選んで、チャレンジしましょう！